



## 親子連れで大賑わい 栗山公園・なかよし動物園オープン

栗山公園と園内のなかよし動物園が4月29日、オープンしました。動物園の入り口前は町内外の親子連れなどの来場者で長い列となりました。オープン記念にイベントを多数開催。親子で動物園を訪れていた町内在住の矢野心結ちゃん(8歳)は、「ウサギが大好きで、動物園には毎年来ています」と笑顔で話していました。当公園指定管理者の株式会社たかはしダリア代表取締役高橋和則さんは「施設は毎年グレードアップしています。たくさんのご来場をお待ちしています」と呼びかけていました。



①オープンを待ちわびた子どもたちにお菓子のプレゼント



②オープン恒例のクワレンジャーショー



子どもたちがオオムラサキの幼虫を観察

## 羽化するのが楽しみ 栗っ子がオオムラサキ飼育に挑戦

角田小学校と継立小学校の1、2年生が5月14日、ふるさといきもの里オオムラサキ館を訪れ、人工飼育しているオオムラサキの幼虫を観察しました。幼虫を見つけると子どもたちは歓声をあげていました。見学の後、幼虫4匹と餌となるエゾエノキの鉢植えを借り受け、教室へ移動。

動。成虫になるまでの飼育説明をNPO法人雨煙別学校職員の田中成明さんから受けた後、幼虫の飼育を開始。角田小学校2年生の佐藤夏純さんは「学校で毎朝観察して大切に育てていきたい。羽化するの楽しみ」と話していました。

## 春のセーフティロード作戦 町交通安全協会

交通事故防止と安全運転の啓発を目的とした「セーフティロード作戦」が5月17日、桜丘の国道234号沿いで行われました。町交通安全協会主催によるもので、毎年、春の交通安全運動週間に行われています。札幌トラック協会南空知支部や町交通安全

ゆりの会、栗山自動車学校、栗山警察署など関係者約50人が参加。「交通安全」と書かれた黄色い旗を振り、交通安全を呼びかけ。ドライバーに「安全運転をお願いします」と手作りのマスコットや啓発グッズなどを手渡すPR活動も行われました。



「交通安全」の旗を振り安全運転を呼びかける

## 民謡で全道1位に 濱谷瑞希さん

第22回日本郷土民謡協会全道大会のジュニアの二部で、濱谷瑞希さんが優勝し、5月16日に佐々木学町長へ報告に訪れました。濱谷さんは、これまで多くの大会で好成績を収めており、12月に開催される全国大会へ出場します。また、7月にはオーストリアのウィーンで「ジャパン・

カルチュラル・フェスティバル2019」に日本代表の一人として参加します。報告で濱谷さんは「海外での公演は音楽を楽しむ方が多いので、緊張せず、切り替えて披露したい」と話し、佐々木町長は「時差などに気を付けて、頑張ってきてください」と激励しました。



民謡大会で全道1位に輝いた濱谷瑞希さん

## 田植えで札幌市民と交流 田植え体験ツアー

そらち南農協青年部主催の田植え体験ツアーが5月11日、南学田の井澤智明さんの水田で行われました。同ツアーは昭和63年から始められ、今年で32回目。札幌市白石区の親子など関係者約100人が参加。150平方メートルの水田にゆめぴりかの苗を青年部の指導を受けなが

らていねいに植えています。また、同ツアーのスペシャルゲストに町出身で笑いタレントのバービーさんが参加し盛り上げてくれました。今回初めて参加した小林謙心くん(小学5年生)は「田んぼに苗を植える深さが難しかった。秋の稲刈りツアーにも参加したい」と話してくれました。



小林酒造酒蔵群前で日本遺産認定を祝う

## 小林酒造酒蔵群が日本遺産に認定 北の産業革命「炭鉄港」

8市4町で申請していた炭鉱、鉄鋼、港湾、そしてそれらを繋ぐ鉄道のストーリーが5月20日、日本遺産に認定されました。本町は、かつて周辺の炭鉱施設と深く関わりがあった小林酒造株式会社と、その歴史的建物群が町の景観を形成していること

からストーリーのひとつとして位置付けられました。この度の「炭鉄港」のストーリーが日本遺産の認定を受けたことは、大変名誉なことであり、大きな喜びです。今後は他の地域とも連携をさらに深め、地域の誇りとして国内外への発信を行い活性化に取り組めます。



①元気に苗を植える子どもたち



②町出身のタレントバービーさんがツアーを盛り上げる